


# それゆけ！

# としよかんだより

## 古典籍逍遙



2011年1月

**第45号**

発行所  
高野山大学図書館  
閲覧室

【第十一回】 図書館長 武内孝善

### 『高野山惣山之絵図』 一鋪

【書誌データ】

紙本墨画、一鋪、正保二年(1645)作成、たて152・0センチ、よこ353・7センチ、四面对置の構図、山野を淡墨(樹木を濃い墨でえがく)・平地を白色とし、そこに道路を朱線で書き入れる。



江戸時代に画かれた高野山の絵図のなか、現存するもので一番古い「高野山惣山之絵図」を紹介し、裏書に「高野山惣山之絵図/正保二<sub>二</sub>十一月廿一日」とあり、正保二年(1645)11月に作成されたことがわかります。

この絵図は、約150×350センチと極めて大きいものです。このように大きな絵図が、これを嚆矢として宝永年間(1704～11)までに七つ画かれています。それらを列挙すると、①正保2年(1645)11月「高野山惣山之絵図」、②同3年(1646)3月「御公儀上一山図」、③承応2年(1653)3月「高野山絵図」、④万治元年(1658)「高野山総図」、⑤元禄6年(1693)7月「高野山壇上并寺中絵図」、⑥宝永3年(1706)10月「高野山壇上寺家絵図」、⑦宝永4年(1707)正月「奥院絵図」となります(②～⑦は金剛峯寺蔵)。このなか、⑥と⑦は一对をなすもので、⑥が山内の壇上伽藍と大門から一橋にいたる寺院を画くのに対して、⑦は奥院だけを詳細に画いています。したがって、実際は六つの絵図が画かれたといえます。

ここで、今回とりあげました「高野山惣山之絵図」の特色を記してみましよう。第一は、現存する絵図のなかで、最古のものであることです。第二は、上記の②～⑥⑦が高野山内の寺院と奥院を詳しく画くのに対して、山内だけでなく、紀ノ川流域にあった高野山の寺領全体をも俯瞰するように画かれていることです。第三は、高野山への七つの入口(高野七口という)ごとに註記があり、そこに高野山からの距離と馬による通行(馬足(ばそく))ができるか否かを書き入れていることでもあります。たとえば、町石道の起点となる慈尊院には「高野大門纏大坂迄十六里、此道筋馬足之通自由ニ御座候」とあって、慈尊院から大門に通じる町石道では馬による通行が可能であったことが知られます。

最後に、特色の第二に「山内だけでなく、紀ノ川流域にあった高野山の寺領全体をも俯瞰するように画かれている」と記したことを補足しておきます。つまり、どこに何が画かれているかを記してみましよう。右三分の一の中央部に奥之院と参道を画き、ほぼ中央の下よりに青巖寺・興山寺、そして壇場伽藍を配し、中央の最上部に慈尊院を、その左下に天野を画きます。そうして、この高野山内を取り囲むように、高野山の寺領に属する村々とその村名が画かれます。たとえば、慈尊院から下流にかけて、西鳴村・山崎村・三谷村・兄村・志富村・麻生津村・安良見村・遠方村・高野村・安楽川村・調月村といった村名が見えます。東の端は摩尼村・杖藪村、南の端は相浦村、東の端には調月村・貴志村、北の端(上端)は紀伊川でして、八十一の村名が確認できます。高野山内を見ておきましよう。大門から奥之院にいたる谷々の名称とそこに位置する寺院名が書き入れられています。谷とそこに所在する寺院数を記すと(〇内は大師堂・湯屋といった建物をさす)、西院谷 126(2)・南谷 93(5)・谷上谷 46(3)・本中院谷 15(2)・千手院谷 57(3)・五室谷 12(4)・一心院谷 13(3)・小田原谷 144(2)・往生院谷 46(2)・蓮華谷 94(5)となり、合計すると646の寺院と31の堂屋が画かれています。この数は、この当時のすべてを表した数かといえば、そうではありません。この絵図の四ヶ月後に描かれた②「御公儀上一山図」には各谷に所在する寺を学侶方・行人方・非事吏方・小坊・客坊の五つに分けて記しており、その総数は学侶方が210ヶ寺、行人方が1440ヶ寺、非事吏方が120ヶ寺、小坊145ヶ寺・客坊42ヶ寺、総計1957ヶ寺と記すからであります。

これらの絵図は、江戸時代のはじめ、高野山上には今日では想像できないほどの数多くの寺院があったことを物語っています。

図書館文化講座とミニコンサートを開催しました！

図書館ミニコンサート(図書館閲覧室)
第4回『エレキギターミニコンサート』
12月14日(火)17:00~17:30
演奏:伊藤陽馬さん(密教学科3回生)

- 曲目
①Departure②Lovin you
③オーロラ④Drifting⑤翼
⑥戦場のメリークリスマス



図書館文化講座(本館2階205号教室)
第6回『高野山の年中行事ー夏安居を中心としてー』
11月25日(木)16:40~17:40
講師:日野西眞定先生(高野山大学元教授)
第7回『古典籍の世界』
12月21日(火)16:40~17:40
講師:武内孝善先生(高野山大学図書館長)



図書館文化講座・ミニコンサートにご参加いただいた皆様有難うございました！！

図書館の蔵書印(2) 図書館員 木下浩良

明治19年(1886)、本学は古義大学林と称して再出発しました。前年に新しい真言宗制が成り、宗内の大学林は全て廃校として、古義大学林と新義大学林の2校の開校が決まりました。高野山大学は、真言宗古義派全体の最高学府となったのです。その背景には、同19年の明治政府による帝国大学令・中学校令・小学校令・師範学校令の公布がありました。古義大学林と新義大学林の下には、全国各地の法務支所に附属する中小学林があったのです。真言宗寺院住職になる者は、必ずいずれかの大学林への入学を義務付けました。

本学において「図書館」と正式に公称するのは、この古義大学林時代の事です。設立の経緯は、修学旅行の余剰金が生じたことでした。長谷宝秀を中心とする学生委員らは、土宜法龍師に相談をして縮刷大蔵経を購入し、大学へ寄贈しました。これを受けた大学当局が、図書館を設置したのでした。掲載の蔵書印は、その縮刷大蔵経に押されたものです。「真言宗古義大学林図書館」とあります。明治という活気あふれた時代の息吹を感じさせられます。(つづく)



2010年12月の開館予定表
SUN MON TUE WED THU FRI SAT
28 29 30 1 2 3 4
5 6 7 8 9 10 11
12 13 14 15 16 17 18
19 20 21 22 23 24 25
26 27 28 29 30 31 1

2011年1月の開館予定表
SUN MON TUE WED THU FRI SAT
26 27 28 29 30 31 1
2 3 4 5 6 7 8
9 10 11 12 13 14 15
16 17 18 19 20 21 22
23 24 25 26 27 28 29
30 31 1 2 3 4 5

9:00-18:00 13:00-18:00
13:00-18:30 9:30-16:30
9:00-18:30 閉館

切り取り

図書館通信



2011年2月7日(月)~4月1日(金)まで蔵書点検を実施致します。所蔵の確認を行いますので、2月4日(金)までに貸出中の図書を全て返却して下さい。上記期間中、図書館は閉館致します。複写・レファレンスサービスはご利用いただけますが、送本サービスのみ1月25日(月)までの受付となります。※返却期限2月4日(金)
ご迷惑をお掛けし申し訳ございませんが、今後の図書館サービス向上の為、ご理解ご協力の程宜しくお願い致します。



(編集後記)
図書館は2011年1月11日より開館します。(石原)

発行所
〒648-0280
和歌山県伊都郡高野町高野山385高野山大学図書館 閲覧室
Tel:0736-56-3835
Fax:0736-56-5590
E-mail service-lib@koyas
Image of a book icon.